

## 普及活動情勢報告（令和3年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### 露地ショウガの早期病害発見に向けて ～今年度もドローンによる空撮調査を実施します～



ドローンを操縦する普及指導員

6月2日からJA高知県土佐市生姜部会員の12人の15ほ場で早期病害発見のための空撮調査を開始しました。部会員からは、「まだ先の技術だが、期待している」、「空撮ほ場に使って欲しい」との期待の声が挙がっています。この取り組みは、今年度で3年目となり、個別指導等で情報を提供することで、早期防除の意識向上に繋がっています。農業改良普及課は、関係機関と連携しながら、今年度もスマート農業を推進し、早期病害防除に向けて支援します。

### 食品衛生法の改正について勉強しました ～令和2年度とさし旬物クラブ総会で学習会を開催～



食品衛生法について勉強中

6月11日、とさし旬物クラブが総会を開催しメンバー8人が参加しました。同クラブは、土佐市産農産物を使ったタレの製造・販売に取り組んでいます。総会の中で農業改良普及課からは、食品衛生法の改正について説明をしました。メンバーはHACCPに沿った衛生管理が制度化されたこととその必要性について再認識し、「履き物は替えなきゃいけないね」、「鍋の温度は測っているけどこれからは記録を残そう」などの意見交換が行われました。農業改良普及課は、今後も衛生管理の取り組みや商品のブラッシュアップに対する助言、支援を行っていきます。

### 定植後のニラの調子はどうですか ～いの町吾北地区 露地ニラほ場巡回～



生育状況を確認する生産者

6月1日、JAコスモスの営農指導員とともに吾北地区の露地ニラほ場を巡回し、生育状況の確認と、株養成期間の栽培管理について生産者5人に指導を行いました。今年は定植後の低温・寡日照により生育が遅いほ場が多く、生産者からは追肥のタイミングや灌水量について質問がありました。収穫までは病虫害防除等、気象条件に合わせた管理が続くため、ほ場巡回を中心に生育状況を確認しながら、JA等関係機関と連携してニラの生産安定に向けた支援を行っていきます。

### 集落営農組織になりませんか ～柳野集落活動センター役員会で組織化を啓発～



イタドリ定植支援を行う普及指導員

6月10日、柳野集落活動センター役員会が役員11人、仁淀地域総括、支援員2人、農業改良普及課1人が出席し開催されました。農業改良普及課が支援してきた簿記記帳結果を元に各班が決算報告等行いました。また、農業改良普及課が集落営農組織の説明や啓発を行った後、「集落営農組織になると会長を別に立てるのか」、「名前を別にするのか」等の疑問に一つ一つ説明を行いました。農業改良普及課は、今後も集落営農組織化をすすめると共に簿記記帳、イタドリ栽培、HACCP実践等の支援をしていきます。